

# 看護師試験 初の全員合格

## 八学大看護学科61人



看護学科卒業生の全員合格を喜ぶ(左から)  
高橋雪子学科長、市澤さん、木村准教授

### 「精進し地域に恩返しを」

八戸学院大学の看護学科を今春卒業した61人全員が、看護師国家試験に合格した。合格率100%を達成するのは、前身の八戸学院短期大学看護学科（3年制）開設以来初めて。このうち8人は保健師国家試験も受験し、全員合格を果たした。同試験の全員合格は2年連続。「みんなで合格」を合言葉に卒業生一丸となって努力した成果が実り、関係者は喜びに沸いている。

（千葉真由美）

八学大看護学科は2009年4月設置の八学短大看護学科を改組し、16年4月に開設。同学科の木村緑准教授によると、各種国家試験に向けて3年次から対策講座を開講し、学生一人一人の能力に応じ専門知識の指導やメンタル面のサポートに当たった。また学生数人が「国家試験対策委員」となり、学生同士で試験のポイントを教え合っただけでなく、

1月中旬以降、新型コロナウイルス禍で大学施設が一時閉鎖となったが、オンライン補講や交流サイト（SNS）などを活用して教員と学生、学生同士がやりとりを続け、試験へのモチベーションを高めたという。

八戸市立市民病院に就職した市澤孝子さん（22）は「入学時から国家試験を意識し、放課後に技術練習をしたり先生方から試験のポイントを聞いたりした。4年間で多くのことを学んだ」と充実した日々を振り返り、「職場では自分の成長と地域の恩返しのため精進したい。将来は助産師資格取得を目指す」と意欲を語った。